



教育は
未来へつなぐ
希望の輪

2025年4月28日(月)

愛知県教育委員会教育部

義務教育課 教科指導・人権教育グループ

担当 谷川、後藤

内線 3915、3913

ダイヤルイン 052-954-6799

高等学校教育課 教科・定通指導グループ

担当 亀田、武田

内線 3903、3904

ダイヤルイン 052-954-6787

2024年度「ラーケーションの日」に関する調査結果について

愛知県教育委員会では、「愛知県『休み方改革』プロジェクト」の一環として、家族と子供と一緒に過ごせる仕組みづくりに取り組んでいます。

このうち、「ラーケーションの日」*について、その成果や課題を検証し、今後の改善に役立てるため、保護者や名古屋市を除く53市町村の教育委員会と市町村立学校、全ての県立高校・特別支援学校等を対象に調査を実施し、結果がまとまりましたので、お知らせします。

1 主な成果

○ 「休み方改革」の推進

- 小学生では3人に一人、中学生・高校生では4人に一人が「ラーケーションの日」を取得した。【別紙1】
- リーフレットや活動事例集、ポータルサイトなどを活用し、「ラーケーションの日」を周知することで、「学校外で体験や学びの活動をする日である」ということについて、保護者の理解が進んだ。【別紙2 1-③、5-③】

○ 学校外の活動の充実

- 「ラーケーションの日」を取得した多くの家庭が、スポーツやキャンプなどの体験活動を行ったり、歴史や文化に触れる活動を行ったりするなど、普段、学校では行えない活動に取り組んだ。【別紙2 1-⑥、5-⑥】
- 「ラーケーションの日」を取得した保護者からは、「家庭内のふれあいを深めることができた」といった声が多かった。【別紙2 1-⑦、5-⑦】

2 今後の取組ポイント

○ 「ラーケーションの日」の取得促進

- 保護者の5人に一人が『ラーケーションの日』を取得したいが、仕事の都合で難しい」と回答している。関係部局と連携して、企業や県民全体に「ラーケーションの日」をさらに周知していくことで、「ラーケーションの日」に休暇の取りやすい環境づくりを進めていく。【別紙2 1-①、5-①】
- より多くの家庭で、「ラーケーションの日」の取得が促進されるよう、「ラーケーションの日」の活用事例を集約し、紹介していく。【別紙2 1-①、5-①】

○ 教職員が「ラーケーションの日」を取得しやすい環境づくり

- ・ 教職員の3人に一人が「自分の子の『ラーケーションの日』のために有給休暇を取得したいが難しい」と回答している。教職員の「ラーケーションの日」取得に向けた有効事例を集約し、市町村教育委員会や県立学校に紹介していく。【別紙2 2-①、6-①】
- ・ 市町村立学校では「給食に関する事務が煩雑である」という声が多いため、給食の食数管理や届け出に関する業務負担が軽減されるよう、事務作業を簡略化した事例を集約し、市町村教育委員会に紹介していく。【別紙2 2-③】

※ 「ラーケーションの日」とは… 県内公立学校（小・中学校、高等学校、特別支援学校）に通う子どもたちが、保護者等とともに、校外（家庭や地域）で、体験や探究の学び・活動を、自ら考え、企画し、実行することができる校外学習活動の日。年3日まで取得可能。

(添付資料)

別紙1 2024年度「ラーケーションの日」取得状況調査

別紙2 2024年度「ラーケーションの日」アンケート調査結果